

龍勢



自立 共生 郷土愛
～自分らしく輝く子～

藤枝市立朝比奈第一小学校

令和3年度 学校だより

令和3年10月19日 第15号

アサギマダラの マーキングをしました

あまり見られないメスにもマーキング



昨日、10月18日（月）に3・4年生がアサギマダラのマーキングをしました。講師として、佐藤さん（掛川市在住）が来てくださいました。佐藤さんは、アサギマダラの研究をしている方で、以前、朝一小にも「旅する蝶

アサギマダラの神秘に迫る」というDVDを提供してくださいました。



佐藤さんからアサギマダラのことについていろいろと教えていただきました



昨日は、40頭弱のアサギマダラが飛来しましたが、そのうちの21頭にマーキングができました。油性の黒ペンで「フジエダ 10.18 OAP□□ (通し番号)」と書きました。

フジバカマに集まるアサギマダラは、圧倒的にオスが多いですが、この日、3・4年生は、3頭ほどのメスも確認しました。佐藤さんもメスの多さに驚いていました。

翌日の今日は、朝から雨でしたが、雨がやんですぐにアサギマダラが集まり始めました。その中に、前日にマーキングをしたアサギマダラはいませんでした。きっと、南への旅を続けたのでしょう。3・4年生がマーキングをしたアサギマダラがどこまで向かうのか…誰かに発見されるのか…なんか、ワクワクしますね。(※OAP14はマーキング直後にカマキリに…)



佐藤さんからキジョランをいただきました



アサギマダラの幼虫は、キジョラン、カモメヅル、イケマなどのガガイモ科の植物を食草とします。アサギマダラの成虫はこのような幼虫の食草となるガガイモ科の植物の葉の裏などに産卵をするということが知られています。

また、アサギマダラの幼虫が食草としているガガイモ科の植物の多くは、毒性のあるアルカロイドが含まれているということが知られています。

アサギマダラの幼虫はこのガガイモ科の植物に含まれているアルカロイドを体内に取り込むことによって、毒を持ち、外敵から身を守るようになっていると言われています。

アサギマダラが食草としているものから、成長のためだけでなく、外敵から身を守るために毒を取り入れているということが分かります。

アサギマダラの幼虫は、外敵から身を守り生き抜くためにそのような工夫をしているのです。

キジョランは学校の敷地内のどこかに植える予定です。朝一小でアサギマダラが産卵をして、アサギマダラの卵、幼虫、さなぎの様子を観察できるようになるかもしれません…。OAPの活動が、また、広がりそうです…。